

サッカーの活動における 暴力根絶に向けて



Handshake for Peace

今回は、国際サッカー連盟 (FIFA) が行う「Handshake for Peace」運動について紹介します。「Handshake for Peace」は友情やリスペクトを示すジェスチャーです。これは世界中に平和・連帯・フェアプレーを啓発することを目的としています。「Handshake for Peace」のロゴは、連帯・希望・リスペクトを示すために、しっかりと握られた2つの手を表しています。この運動は、ノルウェーサッカー協会とノーベル平和センター (ノルウェー) が発案し、発展させてきました。

FIFAは、フットボールの力を用いて、より良い世界を構築することを使命に活動しています。FIFAが実施するイベントにおいて、「Handshake for Peace」運動を採用することで、FIFAや世界中のフットボールコミュニティから世界に向けて、平和や連帯についての強いメッセージを発信することが可能になると考え、この運動に参加しました。

FIFAは、2013年にモロッコで開催したFIFAクラブワールドカップ以降、2014 FIFAワールドカップブラジルも含め、公式大会やイベントでセレモニーを実施してきました。2015年12月に日本で開催したFIFAクラブワールドカップでもセレモニーが実施され、スタジアム来場者やテレビ視聴者に向けて、平和や連帯のメッセージを発信しました。

日本での取り組み

日本サッカー協会 (JFA) でも、リスペクトやフェアプレー精神の啓発・普及活動を行っ



FIFA女子ワールドカップ カナダ 2015より ©JFA

ています。毎年9月に実施している「JFAリスペクトフェアプレーデイズ」では、この期間に試合を行うサムライブルー (日本代表)、なでしこジャパン (日本女子代表)、天皇杯、Jリーグ、なでしこリーグ、JFL (日本フットボールリーグ)、Fリーグ、育成年代の各種大会において、プレマッチセレモニーを行い、「リスペクトやフェアプレーの推進」「差別、暴力のない世界を」というメッセージを選手から広く発信しています。

JFAでは、「サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する」ことを理念として掲げています。より良いサッカー環境を構築し、多くの方がサッカーを楽しむことができるようにすることはもちろん、サッカーに関わる全ての方に「平和」「連帯」「リスペクト」「フェアプレー」「差別、暴力のない世界を」というメッセージを広く発信することで、理念の実現に貢献したいと考えています。

注目度の高いFIFAやJFA主催の大会



FIFAクラブワールドカップ ジャパン 2015より ©JFA

だけでなく、日常のグラスルーツ活動でもメッセージを広く発信し続けることが大切だと考えています。これまで実施している「リスペクト」や「フェアプレー」に関する啓発活動を継続・推進していきます。リスペクト・フェアプレー精神あふれる行動がたくさん見られるよう、今後も皆様のご支援ご協力をよろしくお願い致します。

「Handshake for Peace」運動の詳細は、下記のURLをご参照ください。

<http://www.fifa.com/sustainability/news>



メニコンカップ2015 日本クラブユースサッカー東西対抗戦 (U-15)より ©JFA



2015明治安田生命J1リーグ 2ndステージ 鹿島アントラーズ vs ガンバ大阪より ©Jリーグフォト